

主とともに見張り続ける歩み

総務局長 寺村 秀嗣



「すると主は私に言われた。『あなたの見たとおりだ。わたしは、わたしのことばを実現しようと思張っている。』（エレミヤ一章12節）」

教団創立記念日（21日）を迎える月となりました。私たちの群れが興されてから77年目を迎えます。創設者を初め、群れをリードしてこられた器方、またその時代をともに歩まれた信仰者方を振り返り、各教会ではこの日を覚えて礼拝がさげられることでしょうか。初めの主の愛に留まるようにとのメッセージを受け取りつつ、信仰者たちが持つておられた将来の展望にも目を留め、過去を振り返るだけでなく私たちの未来を展望する時としても迎えたいと思います。

主の預言者として召されたエレミヤの目に真っ先に映ったのはアーモンドの枝でした。それは主がみことばの実現をたえず見張っておられることを示していました。主はエレミヤに、北から傾く煮え立った釜の幻を見せ、イスラエルに厳しい未来が待っていることを展望させました。「あなたが見たとおりだ」と言われたエレミヤはこの重たいメッセージを受け取り、預言者としての覚悟をいっそう強く持たなければならなかったことでしょうか。

少子高齢化とともに、コロナ禍による経済の悪化、そして世界全体が混迷する状況の中で、私たち一人ひとりと教会の現状と予想される未来をすでに厳しいものとして受け取っています。そのような中で主が私たちをこれからのように導こうとしておられるのか、

主とともにしっかりと見張る道へと私たちも召されています。みことばを握りながらその実現を見張っていき先未来は、私たちの想定よりもさらに厳しいかもしれません。「あなたの見たとおり」を受けとめる勇氣と力を、主が私たちに増し加えてくださるよう祈ります。

エレミヤが涙とともに蒔いたみことばはどのような形で実現したのでしょう。エレミヤが主に従い、示されたことばを民に告げても王や多くの民は受け入れようとはせず、彼を牢に投げ込みました。そしてイスラエルは主がエレミヤを通し、「行つてはならない」と語られたエジプトに下り活路を見出そうとしました。エレミヤもその意に反してエジプトに連れて行かれることになり、彼らと行動をともにしなければなりません。エレミヤの足跡はエジプトでも語り続ける姿をもって終わっています。何を語っても通じない人々に涙しながら仕え続けたエレミヤに、主は「あなたの泣く声、あなたの目の涙を止めよ。あなたの労苦には報いがあるからだ。……」（エレミヤ三二・16）と慰めることばを語られました。

忠実に語り続けても徒勞に終わったと思われるエレミヤの経験に似た歩みを私たちがもめるのでしょうか、主はその労苦にも報いがあると語られます。その報いは私たちの想定する形ではないかもしれませんが。しかし、どのような形に行き着いたとしても、主の栄えが現されることを願い、信じて歩んでいきましょう。

目次

- 主とともに見張り続ける歩み……寺村秀嗣……1
- 教団創立記念日、教団史の本紹介、出版事業部会……2
- 教団運営委員会、全国主事会議、組織改革チーム……3
- 海外トピックス、国内教会局コラム、教育部の活動……4
- 松本多真江先生追憶、年会アンケート、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

教団創立記念日を迎える

困難を共に担う群に 教団創立記念の日 10月21日を迎える

教団代表 岩上祝仁

「あなたがたは、よく私と苦難を分け合ってくれました。」

(ヒリヒ三・14)

まもなく10月21日に教団創立記念日を迎えようとしています。80年近くの間、主は私たちの群れを導き、支え、ここまで守ってくださいました。何よりも、心からの感謝を主におささげします。

これまでインヌエルの群れは各々の教会に定住の牧師が派遣されて、一つ一つの教会の伝道と信徒の建て上げがなされてきました。いま日本は少子高齢化の波の中で困難に直面しています。同様に教会も、少子高齢化、過疎化の影響を受けています。私たちは新しい時代に入りました。希望に満ちたものではなく、むしろ困難が予測される、厳しい時代になります。インヌエルの群れは敗戦後の焼け野原となった日本の「困難の中から信仰によって」踏み出しました。復活の主を見上げての信仰によるものでした。同時に主は鳥

田二雄師に信仰の仲間を備えておられました。困難な中にも信仰の仲間、教会の存在があったことをもう一度思い起こしましょう。

その仲間は戦前から福音のため、ホーリネス運動のため、信仰と力を合わせ、主にあつて志を一つとした仲間でした。戦前のホーリネス教会が分裂した後、蔦田師は茂呂の地で神学校の責任を持ち、後継者育成にあたりました。その時に学んでいた神学生たち、ホーリネス教会の中で関係があった人々、またホーリネス系の超教派の働きとしてリバイバル・リーグと共にきよめと宣教のために戦った仲間たち。そうした仲間たちが伝道部発足の際、インヌエルに投合し、信仰による出発を共にしたので。まさにゼロからの進発でした。

信仰の仲間、そして同じ使命感を持った同労者である伝道者たち、さらにそれぞれの教会の真実な信仰者たちが蔦田師を支えて、インヌエルの群れは進発できたのです。それは戦前の旧ホーリネス教会、政府主導によって誕生した日本基督教団とは一線を画した、信仰のみの出発でした。

いま、私たちは困難な時代と向き合っています。だからこそ群れとしての協力体制を整えましょう。主とその教会のために、福音を必要としている人々のために、聖霊の力と愛に押し出されて、困難をともに分かち合いながら、宣教の使命、教会建設の使命を群れ全体で果たして行きましょう。

教団の歴史をたどる

教団史を学ぶため 本をまとめて紹介します 過去を知り、未来を拓く

出版事業部 矢木良雄

教団の歴史を学ぼうと思うなら、最初に手に取るのはやはり「インヌエル二十年史」です。記念すべき第六次総会のために刊行されました。初代総理蔦田二雄先生が教団創設前後の日誌から書き起こされた貴重な証言集でもあります。



インヌエル20年史

創立50周年の記念事業の一環として、50年間の歩みをまとめた大冊が出されました。冒頭部分には、三森春生先生が岡山まで取材に行かれた教団創設史の決定版とも言



聖宣 振り返って目を上げて

える詳細な歴史が記されています。全国教会の紹介、部局の活動など教団全体を網羅した力作です。それぞれの教会に保存版がありますので、ぜひご覧になってください。



インヌエルの60年

それから10年、創立60周年の記念として竿代照夫先生がまとめたのが「だれにでもわかる教団史」です。教会歴史の中のインヌエルの位置づけが解説されています。座談会など、当事者でしか語ることのできない証言もあって、興味の尽きない記念誌です。



「聖と宣」の足跡

そして2016年、創立70周年に出されたのが『聖と宣の足跡』です。副題に「インヌエル紹介の旅」とあるように教団の歴史がコンパクトにまとめられ、さらに教団の一年の営みなどがカラー写真をふんだんに用いて紹介されています。これ一冊でインヌエルの全体像がわかるという極めつき一冊です。値段も驚きの330円！。いまも購入可能です。

出版事業部から……

全体部会を越えて 新しい企画を 準備中です

部長 川村和臣

出版事業部のためにお祈り感謝いたします。

昨年末には「エマオの道で」新装再版、5月には「祈りのネットワーク2022」をお届けしました。ぜひお用いください。

新刊としては、先に案内させていただいているように、岩上敬人先生による、聖書通読の助けとなる書の発刊を予定しています。ウクライナ情勢への著者の対応等のため、当初より発行が遅れ、来春の予定です。すでに原稿の一部をいただいております、わかりやすく、豊かな内容となっております。ご期待ください。実際の歩みのための「信仰生活の手引き」も、引き続き準備中です。今回の会議では、特に青年の聖化、育成に向けて部としてどのような貢献ができるか検討されました。導きをお祈りください。

「つばさ」は若い先生方により活発な編集会議が行われ、次年度も有益なテーマが取り上げられています。リーフは来年、状況を見つつ、再発行の予定です。コロナ禍、奉仕されている信徒スタッフの方々のためにもお祈りください。

教団運営委員会から……

コロナ後を展望して

徐々に活動を開始

広報 浜田耕三



台風北上のニュースが流れる中、主のみ守りのうちに教団運営委員会が9月5、6日、CCC会議室にて開催されました。初めに代表により創世記四一章25、33節が開かれました。5年、10年後にこの群れが直面する厳しい状況を認識し、それを共有しながら、上よりの知恵をもってチームとして取り組んで行きたいと語られました。

続いて各部署の報告がなされました。その中から課題が取り上げられ、検討の時間が持たれました。全国の教会では、徐々に特別集会等が再開されるなど、伝道の取り組みが進められています。また秋季聖会もオンラインを駆使しながら開催されています。続いて祝福をお祈りください。なお国内局では、今後も引退される先生方が増加することを踏まえて、将来に向けた対応を検討しています。各教区でも更なる協力関係を築いていただければ幸いです。

各宣教地においては、先生方が

様々な情勢や課題の中、尊い働きを継続しておられます。み守りをお祈りください。富澤香元ザンビア宣教師は、現地での荷物の整理を終えて先月に帰国しました。宣教コイン献金は来年で降もしくばらく継続します。加えて来年には、送金アプリが利用できるように準備を進めています。続いてコイン献金へのご協力をお願いします。

「とにキャン」はオンライン開催となりましたが、幸いな報告に聖名を崇めました。なおコロナ禍により対面で参加できなかった卒業生キャンパーが、再度参加できる機会を検討しています。今秋の「ビルド」(毎月)、「Re」(10月)、「牧師研修会」(10月)、「YSBリトリート」(11月)の各働きに祝福をお祈りください。

神学院では「BTC夏のフェスタ」が教育局との共催で開催され、献身について語りかけを受ける幸いな集いとなりました。なお、教育局と神学院の共催により、伝道者&信徒教育プログラムの提供に向けて準備を進めています。信徒局では秋のカナ・フェロシップ(11月)に向けて、青年たちとの座談会を踏まえつつ、準備を進めています。

人権委員会からの報告がありました。研修会は講師との日程などが整い次第、開催予定です。全国の先生方には、年会のための調査にご協力いただきありがとうございます。

引き続きお祈りください。

秋の全国教区主事会議

ブロックごとの分かち合い

8月30日にオンラインで開催

国内教会局長 大兼久芳規

教区主事の先生方とともに、Zoomによる全国主事会議がもたれました。教区主事会は、春と秋の教区会のシーズンを前に、群れの歩調を合わせるために毎年春と秋、教区会前に行われています。

初めに中部ブロックBAの浜田師より、マルコ二章1〜5節から(1)祈りとは「その課題をイエス様のもとに持つていくこと」(2)祈りとは「信仰に基づく行為」(3)祈りとは「必ず答えられるもの」との信仰の励ましの中に始められました。

【秋の教区会に向けて】
・組織改革「15の提言」についての感想や新しい提言など依頼。
・結婚情報サポートシステムの今後を覚えて、今の時代に合わせた形態の必要。
・来年の年会。許されれば対面での年会を願っていますが、総務局から参加状況のアンケート依頼がなされます。

【分かち合いのとき】
全体報告の後は、各ブロックに分かれて、午前には、各教会・ブロックの報告がなされ、課題が共有されました。コロナ禍の伝道もままならないこともあり、その中でも教会学校の大切さ、ネット環境を駆使した集いの営みの幸いが共有されています。

また午後の時間もブロックに分かれて「今後、常駐牧師の欠けが生じた場合、どのようにその教会を近隣の教会で支えることができているのか」について話し合いと祈りが積み重ねられました。

今後各教区において、引退等で牧師の欠けが生じる状況が予想されます。その際に、事があつてからではなく、起こる前から、教区でこの課題と向き合い、話し合いと教会間協力の体制が形作られることを願っています。

教区により状況は異なりますが、今から10年先の教区が支えられる体制をシュミレーションしながら、どのような必要があり、どのような協力体制がとれるのかを、教区を一番把握している教区会で話し合うことが許されたら幸いです。

最後の小礼拝では、「父に祈りなさい」とのみことばより、祈りの対象である方を知ることの幸い、父とは「子がいれば十分な存在」「子の必要のため奔走し」「子の最善を願う存在」であることが示されました。この父なるお方を見上げつつ、秋の教区会に向かいたいと願っています。

組織改革検討チーム

ご意見やご提言を

お寄せください

検討チーム 佐藤信行

「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、主が人の歩みを確かめられる。」(箴言一六・9)

今年度には各部署・教区・教会での検討期間として、種々の質問や意見、反応を集めています。今後は、寄せられた意見を基に、再度、提言内容を検討チームで精査し、必要な加筆修正をして、次の年会に最終的な提言を提出する予定です。そのため、意見等は11月半ばまでにお寄せください。

既にこちらに寄せられている意見では、具体的な実施内容、時期などの要望なども含まれています。肥大化する詳細な指定は極力省き、あくまでも提言として、教団各部署の今後の方向性を提示することにとどめた内容を考えています。こちらにいただいた意見は提言の付記として今後の関連部署での検討にも活かしたいと思っております。これからも各提言の具体的な実施に向けて、さらなる主の導きがあるようにお祈りください。

国内教会局から

どんな状況の中でも
兼牧～教会の歩み

教会は、転機を迎えることがあります。いくつかの教会との関わりの中で、牧師の引退・転任・兼牧などの移行期を通る教会には、ある種のパターンがあることに気付きました。まず「不安」です。この



先どうなるのだろうか、自分たちの教会生活はどうなるのだろうかという不安です。しかし、その教会には必ず担任牧師が任命され、必ず牧師が派遣されることによつて「希望」が生まれます。これからも変わりなく教会生活ができる、その中で、どのようにしたら教会を支えられるのだろうか、みんなで考えを出し合い、

支え合う関係が生まれます。そこから、自分にできること、「奉仕分担」が始まります。本来あつた自分の教会への思いの回復です。そして「安心」感が与えられます。変わりなく信仰生活を守ることができ、たとえ大きな変化があつても、なお平安の内に主とともに越えていくことができ

■エリザベス女王国葬19日に、チャールズ国王即位を正式宣言
英王室は9月8日夕、エリザベス女王が滞在中のスコットランド・バルモラル城で亡くなったと発表した。96歳だった。英王室は、エリザベス女王の国葬を19日

一般市民の弔問を受けつける。王位継承評議会が10日、ロンドンのセントジエームズ宮殿で開かれ、チャールズ国王(73)の即位が公式に宣言された。国歌「ゴッド・セーブ・ザ・クイーン」は

「クイーン」が「キング」に変わり、歌詞の中の代名詞も男性を示すものに変更される。エリザベス女王の父ジョージ6世時代の歌詞に70年ぶりに戻る。

■エジプトのコプト教会火災でイスラム教徒が子どもを救出
カイロ発アラブ通信によると、8月14日にカイロ近郊ギザで発生し、41人が死亡し14人が負傷したアブ・セフエイン教会の火災で、ある若いエジプト人のムスリムが5人の子どもの救出していた。「人々を救うために、すぐに教会へ飛び込みました。するとそこは、炎と煙で充滿していたのです。」こう語つたのは、教会の隣に住み、自身も救助中に負傷したムハンマド・ヤヒヤ氏。彼のもとには多くの聖職者が見舞いに訪れ、彼の状態を気遣い、その勇気に謝意を表している。



海外トピックス

■キリスト教の「中国化」要求
共産党序列4位の汪洋政治局常務委員が8月23日、北京で政府公認のキリスト教団体幹部に対し、社会主義を擁護して「中国化」の取り組みをさらに進めるよう求めたと報じた。秋ごろに開く5年に1度の共産党大会を前に、宗教界の引き締めを図り、共産党の指導に従い、外国勢力の影響を排除して国家の主権と安全を守るべきだと強調した。

中国国営新華社通信は、中国共産党序列4位の汪洋政治局常務委員が8月23日、北京で政府公認のキリスト教団体幹部に対し、社会主義を擁護して「中国化」の取り組みをさらに進めるよう求めたと報じた。秋ごろに開く5年に1度の共産党大会を前に、宗教界の引き締めを図り、共産党の指導に従い、外国勢力の影響を排除して国家の主権と安全を守るべきだと強調した。

教育局から……

活躍が期待される
信徒伝道者スクーリング



越谷教会 川村宏美

「青春は、密だから」。9月2日、オンラインで開催された信徒伝道者スクーリングも「密」でした。青春真っただ中の方はおられませんが、生涯信徒の志を持つ私たちは、密度の濃い学びの一日を分かち合いました。

旧約聖書の歴史を、聖書地図と照らし合わせ、注解書と対話しつつ地道に学び、基礎を固めること。その土台の上に詩歌、預言書、新約へと、聖書の構成に沿って霊的、神学的に学びも発展、積み上げていく。その学びのプロセスがあつてこそ、聖書の豊かな風景を見渡すことができる。そこから現場に降り立つ健全な説教ができる。「森を見て木を見ず、木を見て森を見ず」。この定占観測に徹するには、これまた私一生かかりそうですが、まずは学びの基礎トレ、体幹トレ、怠けないことですね。

野田先生の開会オリエンテーションに続いて、佐藤先生には旧約聖書の学び方IとIIの40分クラスを2つご担当いただきました。午後は、グループに分かれ信徒伝道者のみなさんによる説教演習。講評や感想を交えた後、全体での近況報告と分かち合い、そして小川先生による閉会礼拝(1コリント11:4-7)。

「説教、長くできなくて」と予定時間早めに閉じる方もおられ、その謙虚さにおしゃべりな私は反省することしきり。語るよりも聞く姿勢の定着した伝道者に、私もなりたいです。

佐藤先生の旧約聖書の講義は、一生分の学びか？と思うほどに、密な内容でした。

「実るほど首を垂れる稲穂かな」オンラインであっても、今年のスクーリングは実り多く、密でした。次回はぜひ、対面で！楽しみます。

追憶

故松本多真江先生

2022年8月11日ご召天(享年84)



松本多真江先生は、1937年(昭和12年)10月3日、東京都豊島区でお生まれに。社会人21歳の時、お姉さまを通して信仰を持ち、保育園で働く中、献身に導かれ、30歳でBTC第21期生として入学。始良教会で4年、歟沢教会で29年、鳥取教会で9年、計41年間伝道者として働き、77歳でケアハウス草加キングスガーデンに入居されました。7年余り自律、自立、愛し愛される生活をキープされ、越谷教会にも、先に入居されていた横山文子先生、杉本宣子先生と共に隔週のご来会。教会の母、三賢者、と良き香りを下さいました。

8月11日の朝、お部屋で倒れているところを職員の方が発見、救急車で病院に運ばれましたが午前10時54分、地上での生涯を終え天に帰られました。享年84歳。施設の礼拝奉仕の一牧師でもある和臣師に連絡が入り、翌日12日に出棺式。ご時世いたしかたなくの出棺式に告別の意が添えられ、開放した玄関ロビーに杉本先生、横山先生をはじめ松本先生を偲ぶ方々が対策万全に集われ、みことば(民教記一二・三)と賛美と共にのお見送りできましたことは、突然のお別れに戸惑う私たちへの、施設長のお気遣いでした。13日に火葬式。先生の所属教会、寺村師も駆けつけられ、板橋教会員の方からの大きな花束に献花の思いを込めました。ひっそりとした一伝道者の、しっかりと献げ切ったそのご生涯を共々に見届けさせていただきました。納骨は時を改め施設墓地、武蔵野霊園に。出棺式から帰宅しますと、なんと先生からのお手紙、上半期感謝献金が郵送で届いておりました。召される前日に認められたこのご遺稿は、先生がまさに死に至るまで忠実であられたことの証し。野の花のような先生でした。その笑顔、忘れません。松本先生、本当にありがとうございました。(川村宏美・記)

総務局から……
2023年3月24~26日
第76次年会に向けてアンケートを実施
「あなたの道は 海の中。その通り道は大水の中。あなたの足跡を見た者はいませんでした。」
(詩篇七七・19)
コロナ禍において、三年連続で教団年会が大きな変更または制限を余儀なくされてきた中で、現在、来春の年会に向けての検討、調査が始まっています。先月は牧師対象に来春の年会の出席の可否、意向のアンケートを実施しました。それも受けて、今後、会場や実施形態、日程などを定める予定です。ご承知のように、現時点で来春の状況を見極めることには限界があります。基本的には対面での年会を目指し、計画を進めています。これまで使用実績のある会場も、従来どおりの形態での実施はなお困難な中で、会場選定においては、各自の食事宿泊、会場への往復等を考慮する必要があります。昨年、一昨年の年会のようなオンラインを併用した形式も含め、実施に向けては検討すべき事柄は多くあります。ぜひ今から来春の年会に良き導きがあるように、お祈りにお覚えていただければ感謝です。
総務局 佐藤信行

神学生が一生懸命に夏期実習に励んでくださった。ご褒美にアウティングを企画した。行きたいところを尋ねてみると、「重監房資料館」と。「重監房」初めて聞いた言葉だった。▼「重監房」とは、ハンセン病患者を対象とした懲罰用の建物で、正式名称を「特別病室」という。しかし「病室」とは名ばかりで、実際には患者への治療は行われず、患者を重罰に処すための監房として使用されていた。現在その建物は基礎部分だけが残っている。1938年に建てられ、1947年まで使われた。およそ9年間に、特に反抗的とされた延べ93名のハンセン病患者が収監され、そのうち23名が亡くなった。3畳一間に薄い布団と、簡易なトイレのみ。一日2食の粗末な食事。3重の重いコンクリートの扉。逃げることは不可能だ。現物の建物は無いが、実寸大の再現した重監房がある。そこへ入ってみた。冬はマイナス19度にもなる。暖房器具はなく、日本のアウシュヴィッツと呼ばれていた。▼ここに収監された方々は何を思い、何を考えていたのか。むろん、家族にも会えない。中には半狂乱にな



日本にあったアウシュヴィッツ

る人もいた。▼人の残酷さ、罪深さは測り知ることができない。私が当事者であれば平気な顔でハンセン病の方々を収監したであろう。罪とは自分は悪くない、むしろ善人であるとさえ思わせる。▼私たちは皆、自分は正しい事をしていて思っている。しかし、その後で無言でひっそりと息を引き取る人がいる。▼明治政府がハンセン病の方々を国の恥として外国の要人から見えない場所に隔離したことがそもそもその要因である。国がその過ちを認めたのは2001年。この間知られざる涙が流された。いのちが失なわれた。▼そこに、聖公会の女性宣教師が教会を建てた。差別と偏見に苦しむ人に福音が語られた。十字架は希望と人権の尊重を与えた。十字架のほかに問題の解決はなかった。▼いまだに、差別・偏見は残っている。家族はハンセン病患者が出ると、そのことを隠して生きなければならぬ。▼私はそこに建てられていた十字架をまぶしく見上げた。重監房の悲惨さと十字架の希望が同じ場所にあった。セミの鳴き声と対照的に心がとても静かになった。IIコリント四・16、18。(古川恵子)

巻頭言

12番目の選手



世界宣教局
葛田 康毅



広げた翼

Immanuel
His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

祈りで宣教に加わろう！
11月20日はサッカーW杯がカ
タールで始まる日ですが、インマ
ヌエル教会の「宣教聖日」です。
日本特有の考えで、サッカーのJ

リーグのほとんどのチームは、背
番号12を12番目の選手であるフ
ァンの番号にしているそうです。
約束の地を目指すイスラエルを
アマレクが襲った時、モーセはヨ
シユアを戦いに送り出し、自分は
丘の頂に立ち、祈りによって参戦
しました。その祈りの力強さが勝
敗を決めたのです。私たちは宣教
のためのPRAYER（祈り手）
であると同時に、PLAYER（選手）
でもあるのです。
何を祈ればいいのか？
1 情報を集めて
いつも「祈りのカレンダー」や
「広げた翼」、ホームページで宣教
師の祈りの課題を知り、祈ってく
ださっていることを心から感謝し
ます。今年はさらに、宣教強調月
間のカレンダーをお届けしたいと

願っています。あるインド人牧師
から「宣教の第一歩は、外国など
に興味を持ち、知りたいと思うこ
とだ」と伺ったことがあります。
宣教師が訴える祈禱課題に心をと
めて、ぜひ、宣教師とその働き
のためにお祈りください。
2 宣教師の霊性のために
特に、宣教師の霊肉のために
祈ってください。宣教においてよ
り大切なことは、宣教師が何をす
るかよりも、どのような器である
か、です。主イエスは、信仰が揺
らぐペテロのために祈られました。
パウロは自分のために祈るように
と求めました。ある宣教団体の宣
教師の報告には、しばしば、自分
の信仰や神様との関係について、
祈りを求める内容があります。宣
教師の鍵は「人」なのです。
3 宣教地のために
宣教師のためだけでなく、現地
の教会、クリスチャン、そして、
地域や社会のためにも祈りましよ
う。遣わされている宣教師の願い
は、たとえ宣教地で「注ぎのささ
げもの」となったとしても、一粒
の麦となって、そこに多くの実が
結ばれることなのです。
4 働き手が送られるように
主イエスは、宣教の畑をご覧に
なり、その収穫の多さと働き手の
少なさを憶えて、働き手が興され
るように祈るよう、求められまし
た。もし、主が声をかけてくださ
ったなら、イザヤのように「私を遣
わしてください」と祈ることも忘
れないでください。

「神の国は、人が地に種を蒔く
ようなもので、夜は寝て、朝は起
き、そうこうしているうちに、種
は芽を出して育ちます。どのよう
にしてか、人は知りません。」
(マルコ四・26、27 第三版)
8月末のスカイプトーク(ST)
の後、「宣教の奥義、ここに在り」
と思うような冒頭の御言が心に留
まりました。まさにヴァンディ
の働きである教会建設は霊的成長
を見せつつ、自立教会の基礎的部
分が音もなく、しかし確かに少
づつ建て上がりを見せており、神
の御業を見せていただきました。
いくつかのハイライトをご報告し
ます。
一つ目は、ダビデ君の神様への
姿勢が確立しつつ育まれ、家庭宗
教における霊的面で信仰の成長
の証しです。ある人の「大きくなっ
たら何になりたいの？」の問いに
間髪入れず出た答えは「パパのよ
うに牧師になる事！」ヴァンディ
師は父親として一度もその件に関



CAMBODIA

カンボジア

葛田緑乃*2022年9月2日

して話をしてないにも関わらず…
です。父親として至上の感謝とと
もに、主におささげしたこの息子
の全ての霊的、健康的、経済的必
要を満たしなされる主におささげす
る恵みを再確認しておられます。
二つ目の救霊と教会建設の面
で、出発した各年代層に応じた「弟
子訓練」の充実です。それはBTC
Cの訓練を思わせる内容で、しか
も世代に応じての「ささげる」信
仰が行為に見られるようになりま
した。これまで教会に対して「教
会とは外国からの献金により支え
られるもの」が当然の概念で、自
分たちはその恩恵に与るとい
う教観でしたが、教会の必需品(時
計、その他)がさげられ、行事
の参加も当然のように自費でとい
う姿勢に変わりました。また、ヴァ
ンディ師と私に主がそれぞれに与
えてくださったヴィジョンが、詩
篇二・8の御言から与えられてい
た事がわかり、心躍る思いでした。
それに加えて神様はテス夫人を通
しても奇蹟的御業を推し進めてお
られる事が証しされました。詳細
は次の機会にと思いますが、彼女
の存在が摂理の主の御業の中に用
いられています。
主がご自身のお働きをご自身で、
しかも働き人が「そうこうしてい
るうちに」静かに働きを進めて
下さっており、報告し、
全ての栄光を主にお返ししながら、
引き続き、お祈りの灯を絶やさず
に「祈りの座に座る宣教師」とし
てのお働きを継続していただきました

く、お願いとともにご報告を終わります。 ■



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2022年9月6日

ケニアの大統領選挙（および知事等の選挙）のため、お祈りを有難うございました。選挙は予定通り8月9日に行われ、選挙管理委員会にあたる機関の不穏はあったものの、投票日は、おおむね平穩に過ぎました。可笑しな格好で投票に来た人のニュースがツイッターで出る様子に、「こんな平和なニュースが前面で良かった」とコメントが入るほどでした。開票には数日かかり、同じく選挙管理委員会がらみの不穏がありました。前大統領の副大統領をされていた方が当選と発表されました。病院から8キロほどの町で、知事選挙の結果を不服とした人々によって放火騒ぎがあったものの、短い時間に收拾されたそうです。各地で同様の散発的な暴動等があったようですが、全国規模には至らず感謝でした。

その後、対立候補が選挙結果の透明性を疑問として最高裁に訴えました。9月5日に最初の発表通りという判断が発表され、一応の結末を迎え、今は各地に厳重警戒を取りつつも全体的には落ち着いています。ケニアでは、自分の支持した候補者が落選すると自殺してしまうような人もいます。選挙前の礼拝説教で、「そんなことで自殺しないように」「次の機会、という事もあるのだし」と、最も大切なことは何か、というメッセージとともに扱われていたことがあります。

2017年末の選挙が全国的暴動に発展した時の反省として、当時、一部の教会が講壇から一候補を支持したり、別の候補を非難したりしたことが挙げられました。次の選挙では、教会がどのように選挙のために祈るべきか、関わるべきか、個人としてどう祈り、対処し、選ぶべきかが意識して語られていました。今回の選挙も、早くからお祈りが積みまわられています。

熱烈な支持者のこと、部族がらみの問題、その緊張や混乱に乗じたテロの可能性を覚えて、引き続きケニアの平和のためにお祈りください。新型ウイルス予防のための規制の維持に加えて、選挙がらみの治安維持に従事する警察や軍の関係者の方々のためにも覚えてお祈りください。現地協力教会の 아프리카福音教会の教会員の中にも、要職に就いている方がいます。

病院では、心臓外科に深く関わるW医師がアメリカへ一年の予定で巡回のため帰国されました。留守の間、アフリカ大陸出身のA医師とO医師が責任を担って連日手術とそれに関わる重要な判断を担っています。帰国で欠員が出ている部署のためお祈りください。一方で、昨年帰国された宣教師の方が続々と再赴任しています。再赴任した宣教師方の働きが、主にある喜びの中で再開されますようお願いください。治安の変化によつては緊急の出国の可能性もあります。危機管理委員会を担っている宣教師方が、正しく時を見て判断できますようお願いください。 ■



TAIWAN

台湾

久保光彦・せきな*2022年9月7日

8月も礼拝はハイブリッドの形を継続しています。少しずつ対面参加者の比率が上がってきました。それに伴い、それまでオンラインで行われていた「にほんごカフェ（日本語教室）」は対面に戻りました。

た。8月末頃からは、にほんごカフェと同じ時間に、（日本語が母語の）小学生の中国語クラスも始まりました。駐在などでこちらへ来ている方の、普段は日本人学校へ通っているお子さんたちが参加するようになりました。このクラスが始まったことで、その後の子ども礼拝に残るお子さんたちも増えてきました。また、日本語クラスを受けている方のお子さんたちも家族と一緒に残ることが増え、子ども礼拝は台湾人と日本人が混ざって座っています。

子ども礼拝中、使う素材は日本語と北京語のバイリンガルのものでありますが、台湾人の子どもの場合は日本語が全く分からず、通訳できる方がいない時もあり、これまで以上に私たちの語学の学びの必要性を感じています。

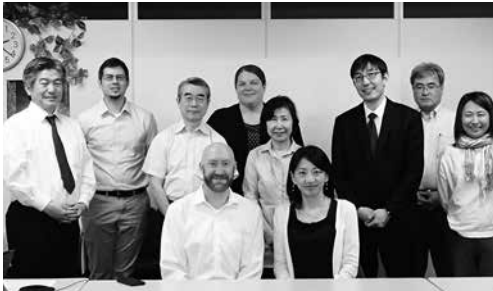
子どもたちは新学期が始まり、大人も語学学習に時間を割くことができるようになりました。もっとも、新学期には子どもたちが順々に風邪を引いて熱を出すこともあり、気は抜けません。基本的にはせきなが午前、久保が午後に授業を入れるようにして、どちらかが緊急時の対応ができるようにしながら学びを進めています。

せきは、先に台中にいられて活動されている他教団の宣教師の紹介で、教師が全員クリスチャンの語学学校で中国語を学び始めました。英語で授業をする学校とは知らずに、連絡を取りました。英語があまり得意ではありません。

で、断られることも覚悟しましたが、「私たちは宣教師を助けたい。身振り手振りで教えるから大丈夫です！」と快く引き受けてくださいました。担当の先生が「ゼロから1人で台湾華語」という本を見つけてきてくださり、先日それを学び終えました。現在は学校で出しているテキストを学んでいます。先生は日本語ができません。教科書の例文、説明から雑談に至るまで全て中国語なので、日本語で学ぶよりも聴く力は鍛えられているように思います。毎日の宿題はその日に学んだ文法や単語を使っての作文です。自分が普段生活で使っているような単語で文を作成し、実用的な語彙を増やそうとしています。台湾に来て最初の1年はとにかく聞き取ることが難しく、魔法の言葉「不好意思。我是日本人。聽不懂。（すみません、私は日本人です。聞いてもわかりません。）」で対応することはかりでしたが、ここに来て少しずつコミュニケーションを取れるようになってきました。小さな変化に喜びを感じ、学ぶ意欲に繋がっています。4人の子どもを育てながらの教会の働きと学びはハードです。あと10歳若ければと思うこともしばしばありますが、多くの方にご理解とご協力をいただきながら、奉仕と育児を続けています。引き続きお祈りいただけたら幸いです。 ■

IWF発足から70年

世界宣教局長 田辺寿雄



IWFとは、インマヌエル・ウェスレアン連盟のことで、イムヌエル綜合伝道団、グローバル・パートナーズ(GP、前ウェスレアン宣教団)とワールド・ゴスペル・ミッション(WGM)の三団体による宣教協力関係を指す略称です。写真は2020年の理事会メンバーです。

1952年、教団の第7次年会にウェスレアン宣教団の宣教師4名をお迎えし、年会での承認を経て、IWFはスタートしました。宣教師方によって開拓された板橋、大宮、鴻巣などの教会がインマヌエルに合流となり、同じ年に日本での働きを開始したWGMの久芳顕・エドナ宣教師ご夫妻もIWFに加入されました。

それから70年が経ちましたが、今も三者による宣教の協力は続けられています。これまでの歴史を振り返って感謝をささげるために、11月29日(火)午後オンラインでの記念集会を行う予定です。これまで日本でご奉仕くださった宣教師の皆様へ、私たちからの感謝が届けられるようにと願っています。

子どもたちの学校のためにお祈りをありがとうございます。将来的なことを考え、今年の6月にマニラに転居し、子どもたちの学校を探し始めました。感謝なことには長女が宣教師子女のための学校フェイスタカデミーに受け入れてもらえることとなり、本人も強く志願していたので親としてもほっ



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2022年9月12日

としています。他の3人の子どもたちも対面で授業が行われる学校に決まりました。この学校は、お世話になっているパルメラ教会のメンバーのお子さんが通っている学校です。家から学校まで車で15分程の距離にあります。教育方針と将来の計画を聞き、安心して子どもたちを預けられる納得が与えられました。8月中旬から子どもたちは元気に楽しく学校に通っています。対面で教育を受けられることに感謝しています。

8月中旬より常喜はウエスレアン聖書大学新学期の開始前にロサリスに滞在し始めました。ロサリスに赴任して間もなく、2回の宣教師の故障(パンク、シフトの故障)、恭子が買い物中に3人の女性の窃盗犯に取り囲まれ、財布を捕られそうになった未遂事件(以前この手の窃盗被害にあった女性

宣教師の話は聞いていましたが)など次々と予期しないことが起こり、祈るしかありませんでした。折しも、ある教会が気に掛けてメールをくださり、祈禱会で折ってくださいました。改めて日本の教会の皆様への祈りによって支えられ続けていることを覚え、また神様のみ守りに感謝しました。常喜は身の回りのことは自分でしていますが、食事はロサリス教会メンバーの方が大学の付属のウエスレアンアカデミーで営む学食で摂ることにしていました。ところが2週間後血圧が異常に高くなり、その後は茹で野菜を中心に食生活を変えたところ、血圧も安定し以前よりも良くなりました。聖書大学の新学期が再開されました。対面授業の再開が許可されたため、入寮も可能となり新入生は28名与えられました。常喜は2



科目担当します。1科目は常喜にとつて新しい「正典論」を1年生に教えます。学生たちと聖書がどのように私たちの元に届いたのかを一緒に学んでいます。1年生は一番人数が多いクラスで、久しぶりの大人数のクラスに試行錯誤しながら進めています。2つ目は「ダニエル書黙示録(黙示文学)」4年生と一緒に学んでいます。両方のクラスに対面参加が不可能な生徒があり、オンラインでも参加できるように工夫しています。■

お祈りの課題

カンボジア(篤田緑乃)

◆ヴァンデイ師が牧会する教会が主によって健全に成長し、自立教会が建ち上がるように

◆ヴァンデイ師のご両親の霊的開眼とご親族の救いのため、グレッグ宣教師のご一家、特にご長女の

■会計報告8月分

宣教献金 九七九、九三〇円
月平均 一、一一七、三〇八円

◆ご霊肉の健康のために
◆KCCの全伝道者の神様との御交わりと、同労者同士の霊的一致のために
◆ケニア(篤田就子)
◆大統領選挙が全国規模の混乱なくなされた感謝
◆大統領選挙後の平和のために
◆麻酔科、整形外科、主任室等の働き人(ルカ10の2)が起こされるように
◆香港(鹿島)
◆香港は感染者が再び増加しています。規制が厳しくならず、対面礼拝が守られるように
◆牧師の両目の白内障手術(9月中旬)後の奉仕のために
◆入国隔離規定が緩和され、入国マルチビザの手続きが開始され、速やかに取得できるように
◆16日に北京で開催される第20回全国代表大会が相応しく執り行われるように
◆台湾(久保)
◆秋にかけて新型肺炎が再拡大しないように
◆台湾を取り巻く状況が主の平和の内に守られるように
◆宣教師の語学の学びが祝されるように

フィリピン(豊田)

◆新校舎建設の経済的必要性のため
◆聖書大学では対面授業が再開され、10月までロサリスに滞在する常喜のために
◆事故、事件、怪我、過ち、災害病、疫病から家族が守られるように。子どもたちの学校のために

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

望みは神から来る

院長 ● 林 正弘

「私のたましいよ 黙って ただ神を待ち望め。私の望みは神から来るからだ」(詩篇六一・5)

神学院では、9月下旬に夏期実習が終わり、10月は、集中講義やオープンキャンパスなどの特別プログラムが進められます。そして月末から通常の後期の授業が始まります。その先を展望するとクリスマスと年末がそう遠くないところにあります。私たちの歩みには、予定通りに毎年同じように進められる面もあれば、コロナ禍によって特に意識するようになりまして、先が見通せず何が起るのかわからないという面もあります。

いずれにしても私たちは進んで行かなければなりません。そのために必要なのが希望です。

希望は、すでに手にしていることではなくこれから与えられることについての確信です。予定通りにうまくいっているときよりも、厳しい状況に追い込まれたときこそ、希望はその真価を発揮します。そのような希望は、冒頭のみことばによれば、神から来ます。正確には、神だけから来ます。だから「私のたましいよ 黙って ただ神を待ち望め」と呼びかけています。ほかに期待するところはありません。「神こそ わが岩 わが

救い わがやぐら」だからです。神に期待し、望みを置く人は、黙ります。いろいろと考えて動く前に主の前に静まります。神さまからの語りかけを聞くために待ち望みます。

神に期待し、望みを置く人は、心を注ぎ出します。信頼していただく方の前に心にあるすべてを持ち出します。自分で抱えているうちは解決がないのですが、主にお委ねするときに主は最善を行ってください。

私たちはどこに望みを置いているでしょうか。先を展望したとき、見えるところに希望はないかもしれません。そのようなときこそ、信仰が引き上げられるチャンスです。望みは神から来るからです。



8・9月のフスタ、院長の集会で

神学エッセー

神学の問題意識

メソジストとホーリネス



藤本 満

内の働きに力点を置きました。ホーリネス運動は、教会の外で行われる聖会・家庭集会・大衆伝道・霊的修養に力点がありました。なぜそのような別れ方をしたのか。ホーリネスはそもそもメソジストという教会の中で生まれ、野外の聖会や家庭集会という、教会の外で形作られたからです。教会の礼拝とは違う世界で恵みを求めたと云っても過言ではありません。

十八世紀英国のジョン・ウェスレーの流れに身を置くグループは、大きくメソジスト系とホーリネス系にわかれます。前者は、明治初期からの日本メソジスト教会として存在し、戦前の天皇制国家主義によって「日本基督教団」として統合され、戦後も合同教会の中に残りました。いまは同教団の中で「更新伝道会」というグループで活動しています。

後者は、メソジスト牧師の働きを中断し、シカゴのムーディー聖書学院に留学し十九世紀ホーリネス運動の影響を受けた中田重治(明治3年、昭和14年)が率い、そこから生まれた諸派として今日も存在しています。

十九世紀のホーリネス運動は、英米で交流を持ちますので、宣教師として来日した聖公会司祭のバックストンもホーリネス運動の人と考えることができます。メソジストとホーリネス、どこが違うのでしょうか。メソジストは発足時から年会、監督制、教会的な整備、伝統、教育という教会

象徴的な違いに「恵みの座」があります。メソジストにとってこの用語の意味することは一つ。聖公会と同じように、礼拝の最後で聖餐を受けるために一列に並んで前に出て、受けるときにひざまずく聖餐レール(柵)を指します。しかし、ホーリネス運動では、聖会などで罪が示され、悔い改められるように、集会場の前に進み出る、そこが恵みの座です。

メソジストにとって恵みの座は礼拝の出来事であり、聖餐に直結してました。しかしホーリネスでは、むしろ教会の外でなされる霊的な体験を指します。

讚美歌も違います。メソジストはチャールズの賛美を多く歌い、ホーリネス系では『リバイバル聖歌』のような、神に捧げる・神は応えて聖霊を注いできよめてくださる、という十九世紀の讚美歌が好まれました。次回は、十九世紀ホーリネス運動の中心的な女性説教者フィービー・パーマーの生涯と神学についてです。

聖宣神学院図書館 創設70周年記念企画

神学院図書館と私 2

図書館司書 三森春生

聖宣神学院の図書館は1952年に発足しました。その図書館に寄り添い、支えてこられた図書館司書である三森春生先生に、神学院図書館の創設当時の貴重な証言を綴っていただきました。今回はその2です。

3年生になる直前結核を発病、2年間休学することになりましたが、同じ期間に同期生は学徒動員で教室から工場派遣となり、1年で短縮で上級学校へ。私の病状は何とか治癒に向かい、持て余す時間にも手元の文学全集を全巻読破することができました。やがて爆撃で全焼被災、敗戦、復学、旧新学制の変更の中で大学へと進みました。理工系の学びでしたが、不思議な導きで、教会へ、聖書へ、そして現在KGG(キリスト者学生会)として知られる学生伝道活動を通して信仰に導かれました。中学校にあった立派な図書館は

何度か使いましたが、公共の図書館は近くにない経験も無いので、特に動機らしい事情も無い浮かびません。どうやらこの時期に図書館への興味を持ち始めたようです。そこが私の個人図書館であった神田の古書店街で図書館の本を数冊買い求めました。私が特に興味を持ったのは図書分類法で、以前から植物の分類に関心があったことは確かです。今、全世界で最も広く使われている、メルヴィル・デュウイの十進分類法を知ったことから、自学自習で図書館の世界にひかれていきました。大学に入ったころ、特に動機は思い当たりませんが図書分類に興味を持ち、専門外なのに自学自習で図書館学を学びました。同じころKGGの夏期学校で、葛田二雄先生の説教を通して救われたのが機縁で、同年開設した丸の内教会に転籍、青年会に加わって諸活動に奉仕しました。当時入手困難だった信仰良書が古い信徒から提供されたので教会図書部が発足、図書分類法等の知識が役立ちました。丸の内教会の牧師だった葛田院長は当然、それもご存じでした。

BTC図書館の発展

神学院図書館は米国から寄贈された千冊余の中古洋書、国内有志の寄贈書に新規購入書若干で特設書架を埋めて発足、八年かけてようやく蔵書2千冊に達しました。その間、校舎の増改築に併せ、専用書庫として図書室も設置された

ものの、神学校図書館としての内容はまだまだでした。内外の宣教推進、財的必要など多方面の重荷のため祈り戦っていた院長の胸の内、図書館の課題は決して片隅には置かれていませんでした。

1959年5月の教報154号報告欄、2段組囲み広告で「図書室委員より」の記事が掲載されています。内容は、蔵書5千冊目標達成と日本語良書献本の訴えですが、注目すべきは葛田二雄総理を委員長に顧問4名、委員として経理3名、実務3名の名を連ねたBTC図書室委員会の陣容です。実務委員筆頭に私の名もあり、今思えばまさに汗顔の至りですが、教団が総力で猛進撃を進める中、福音宣教、教会建設になされる各種アピールに劣らぬ切実な訴えでした。その後数年、この呼びかけは更に高揚され、それに応じて献本



献金が続きました。

4年後の1963年5月の教報「203号」には「BTC図書室基金創設」の訴えが載ります。このたびは、単なる一時的募金でなく「基金」の訴えでした。図書館の蔵書充実のため恒常的な図書購入資金が得られるようにとの発意でした。自給・自治・自展を掲げて宣教的教会建設を目指すのが教団において基金設定という手法には違和感があるような空気の中、あえて基金を提唱するのは、通常の教会形成とは異なる消費一方の経理であること、直接宣教や教会の負担増を避けるためでした。

この時は、当時どんな図書館でも必備とされた『大英百科事典』全28巻と『ウェブスター国際英語大辞典』大型版購入が挙げられ、その後、予定通り購入しましたが、百科事典の実際の利用がほとんど



ないのは、より必要が多かった日本語の百科事典(平凡社版)も同様で、時代の反映でしょう。

こうした募集の有無に関係なく、自発的支援者も多数おられました。中でも丸の内教会員で女子中・高校国語教師だったある女性信徒は、献金に加えて、神学生の国語力増進にと国語辞書なども献付けてくださいました。この時期に思いがけず多額の献金を、直接図書購入などに使わず購入費を生み出す基金にと指定してくださいました。まさに院長の意図に通じる快挙でした。金利下落の現在もいろいろ対策しながら、今は亡き故人の遺志が活かされてきました。

献本については質量いずれも評価のしようがなく、不公平を承知で数例を代表的に紹介すれば、第一に米国ウエスレアン教会と宣教団、およびワールド・ゴスペル・ミッション、そして両者所属で来日された宣教師方の貢献です。ちなみに聖宣神学院図書館の英語名は、BTCギプス・メモリアル・ライブラリーですが、これには裏話があります。名付親の葛田初代院長がテレ笑いしながら私だけに話したことで初公開。ギプスとは、在日ウエスレアン宣教師団戦後最初の代表で、定年帰国直前でした。問題はメモリアル、英語では特に死者を記念して使うのが慣例のことです。外国人が驚くほどの英語の使い手だった院長にしてこのミスと私も一緒に笑うしかなかった懐かしい思い出です。(次号へ)

◆夏期実習で学んだこと

心を合わせた祈り

正規コース 森徳子

夏期実習前期を、長野県にある上田教会でお世話になりました。教会での四週間はあつという間で、単身女性牧師の牧会に学ばせていただきながら、教会に来られる方々が、多かれ少なかれ、痛みや悩みを持っておられることを知りました。一人で祈る祈りもありますが、心を合わせた祈りのただ中に、主がおられました。

礼拝の祈りの中で、あまりの苦しみに涙し、しばし言葉を失った方がおられました。その沈黙のとき、皆がその方を思い、礼拝に集う人々の心が一つとされました。そこにはまさしく主がおられ、私たちを包み込んでくださっています。

またある日には、同じような痛みを持つ方々がともに集い、家庭集会が持たれました。ともに祈る祈りを、聖霊さまが導いてくださいました。かつてひと時の間でも、主が喜びを与えてくださったという恵みが祈りの内に分かち合われ、そこに慰めがあったのです。二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わ

たしもその中にいるのです。」(マタイ一八・20)

上田教会から車で1時間半ほど行ったところに、「重監房資料館」があります。そこへ古川先生と出かけました。重監房とは、ハンセン病者を対象にした懲罰用の建物です。4・5メートルもの高さのコンクリートに覆われ、仕切られた部屋の中には、わずかな光しか入りません。反抗的と見なされたハンセン病者が、何十日、何百日もそこへ入れられました。薄っぺらな布団が1組あるだけで、冬にはマイナス20度にもなり、床に張り付いた布団の中で凍え死んだ人もいたそうです。粗末な食事を差し入れるために設けられたわずかな開口から、か細い腕が伸ばされ、空をつかんでいたとか。

人間はここまで残酷になれるのか、そのような罪深さが自分の中にもあるのか、という恐ろしさとともに、敷地内にいた他のハンセン病患者が自分の食事を残して、重監房にこっそり差し入れることもあったというあわれみに、主を覚ええました。聖公会のクリスチャンたちによって、福音が伝えられてもいたようです。

たましいの苦しみ、肉体の苦痛の中で、慰め、希望はただ主にあります。重荷をとにも負い合い、主を見上げていくことの大切さを感じました。



◆夏期実習で学んだこと

支えられた夏期実習

正規コース 林眞光

「キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ……、それぞれの部分が生かされて生きて働くことにより成長し……。」(エペソ四・16) 今年の夏期実習は私にとっても忙しいものになりました。予想以上の忙しさで自分の限界と辛い事から目を背けようとする自分の弱さに直面しました。そのような時にも周りの方々からお祈りをいただきながら無事に奉仕をなすことができました。改めて「支え合うこと」を考えさせられました。

実習では、礼拝の説教や祈禱会の説教、また礼拝堂の整備やCSの企画など、霊的な奉仕から実務的なものまで担当しました。その中で自分の不得意なこと、疲れを覚えることもあり、「この奉仕は僕じゃなく別の人に任せる方がいいのではないか?」とか「1人で限界だ」と思う事もありました。そのような時に神様と一緒にその事に取り組む人を与えて下さり、支えられながら奉仕に取り組むことができました。また説教準備や礼拝堂の整備で忙しく余裕がない

時には、教会の方々から食事を差し入れていただきました。そして何より教団の各教会を実習で訪ねたとき、皆様から「お祈りしているよ」と声をかけていただき、祈りによる支えを感じることでできた実習期間でした。

学苑だより

今振り返るとこの2か月間の実習期間は1人では決して乗り越えることが出来ない日々でした。一緒に奉仕をしてくださる方がいてくれたから、また食事など実際的な支援をしてくださる方がいたから、何より私のために祈ってくださる方々がいたからこそ支えられた奉仕ができたんだと感じました。その支えは教会に集うお一人ひとりが主をかしらとして、教会を愛し、隣人を愛しているからこそその姿勢だと実感しました。

●9月はキャンパスで一番蚊が多くなる時ですが、徳竹先生が毎日のように汗だくになって草刈やメンテナンスのための作業をしてくださいました。

●林神学生と森神学生は9月25日で8週間の夏期実習を終えられ、26日無事に帰院されました。お祈りを心から感謝いたします。

●来春卒業予定の石川神学生はインターン実習を継続しつつ、卒論にも取り組んでおられます。

●10月21日(金)〜22日(土)に開催予定の「BTC秋のオープン・キャンパス」に向けて、神学生生方を中心に準備が進められています。

●10月は、4〜7日「結婚カウンセリング」(梅田昇師)、11〜14日「ヨハネの福音書」(葛田直毅師)と2つの集中講義が開講されます。後期の学びは10月25日からスタートする予定です。お祈りください。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。8月の会計報告をさせていただきます。

8月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥1,500,000

教会員による
「神学院サポート献金」
¥491,610
教会団体による「神学院献金」
¥631,970
合計 ¥1,123,580
その他の献金(一時・特別)
¥60,400

・振替= 00230-0-10138



公報

本部通達

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す。」(伝道者の書 一一・i)

実りの秋、教会を通し、福音がさまざまな形で多くの方々に届くように祝福をお祈りいたします。

■本部

10月21日(金)は77回目の教団創立記念日です。

イムマヌエル綜合伝道団所属の全教会はこの創立記念日を覚えて「教団創立記念礼拝」を行います。例年礼拝時に実施している感謝献金については、可能な範囲でのご協力をいただければ幸いです。

〈公議〉

4日(火) 拡大財務委員会
(予算編成方針検討・オンライン)

25日(火) 財務委員会
(予算書検討・オンライン)

■国内教会局

〈公議〉

3日(月) 女性牧師部祈り会
7日(金) 宣教研究委員会
14日(金) 国内教会局運営委員会
17日(月) 厚生委員会(本部会議室)

〈教区会〉

10月3日(月) 東関東教区
中京教区

10月11日(火) 東北教区

10月17日(月) 北九州教区

10月18日(火) 近畿教区

10月24～25日 中国教区

10月31日(月) 沖繩地区会

11月1日(火) 北関東教区

《聖会開催情報》

◇北関東聖会 (YouTube 配信)

10月10日(月) 祝

講師 細田恒太郎師

◇関西聖会 (対面・配信)

10月10日(月) 祝

会場 大阪リバーサイドホテル

講師 岩上祝仁師

◇中国聖会 (DVD 聖会)

会場 各教会で開催

講師 阪下謙師

◇北越聖会 (DVD 聖会)

10月23日(日)

会場 各教会で開催

講師 浜田耕三師

◇東関東聖会 (オンライン併用)

11月3日(木) 祝

会場 市川サンシティ

講師 田辺寿雄師

◇静岡聖会 (オンライン併用)

11月3日(木) 祝

会場 浜松教会

講師 岩上祝仁師

◇沖繩聖会

11月3日(木) 祝

会場 那覇教会

講師 葛田聡毅師

《JHA関係》

◇関東聖化大会 10月18日(火)

会場 中目黒教会(オンラインも)

講師 ケビン・ブラウン師(アズ

ベリー) 大学学長、録画説教、錦

織寛師

◇東海聖化大会 10月23日(日)

午後1時30分、

講師 ケビン・ブラウン師(録画)

会場 名古屋教会を主会場とし、

サテライトをZoomでつなぐ。

◇ジョン・ウェズレーに学ぶ会

10月21日(金) 会場 日本フリー

メソジスト岸之里教会

講師 大兼久芳規師、ケビン・ブ

ラウン師(録画)

◇九州聖化大会(YouTube 配信)

10月30日(日) 午後3時、

講師 吉村和記師

■世界宣教局

▼9月8日午後実務会、15日午

後に運営委員会を開きました。27

日午後には秋の局員会が開かれ、

全宣教師と局員が参加しました。

冒頭にはIWFの宣教師も加わり

分かち合いの時を持ちました。

▼11月の宣教月間と宣教聖日(20

日)に向けて、DVD作成など準

備が進められています。11月初め

に全国の教会へ送られる予定です。

▼11月の間、毎日祈ることができ

る宣教祈禱カレンダーも作成中。

10月中にメールでお送りします。

▼宣教コイン 献金へのご協力を心

から感謝いたします。今からでも

ぜひご参加ください。

▼富澤香元宣教師は、ザンビアで

の残務整理を終えられて、9月3

日無事帰国されました。

▼葛田就子宣教師は、国内を巡回

中です。礼拝、祈禱会、聖会や教

区会などにお招きください。補

助(上限5万円まで)があります。

▼必要な教会は葛田敬子師まで。

▼鹿島義喜宣教師は9月に白内障

の手術を受けられました。

■教育局

《公議》

▼局運営委員会

日時 10月3日(月) 午後1時半

(オンライン開催)

《教育部・生涯学習課》

▼有志による牧師研修会(牧師対象)

日時 10月20日(木) 午後1時半

～4時(オンライン開催)

講師 國重潔志師

内容 ①「きよめの歴史的な流れを

学ぶ」 申込方法 ① kenshu2022

@immanuel.or.jp宛に、氏名、

教会名、メールアドレスを明記し

て「参加を希望します」とお送り

ください。(窓口 佐藤信行師)

▼生涯学習課会合

日時 10月28日(金) 午後1時半

(オンライン開催)

《教育部・信徒教育課》

▼信徒向け聖書講座(無料、各教

会で自由に利用可)

内容 ①「使徒の働き」の学び(第

21回目まで公開中)

講師 岩上敬人師(JEA総主事)

▼過去の信徒聖書講座

内容 ①「救いの確立」(熊谷邦男師)

第7回まで公開中(聖書講座は教

育局HPから常時視聴可)

《青少年部・青年課》

▼ビルド(月に一回、オンライン

開催)

*今月はテーマを

もとに語り合うト

ークビルド、来月

は「聖書を読む」

ビルドです。(お問い合わせは担



当の久留米教会・吉村師まで)

▼R3(西日本青年大会)

日時 10月16日(日) 午後3時～

5時(オンライン開催)

講師 渡辺多実樹師

内容 ①リトリートの交わりの時

②第9回YSBリトリート(オン

ライン開催)

日時 11月23日(水) 午前・午後

ゲスト 田辺寿雄師

テーマ ①「神のデザインⅡ」私の

中の〇〇と、その先へ」

《eラーニング》

9月第2週より島先克臣師によ

るコース「包括的福音を求めて」

が開始。受講受付中です。牧師・

宣教師・神学生・信徒伝道者には

補助があります。窓口 野田禎師

■聖宣神学院

▼10月の神学院祈り会(オンライ

ン)は、3日(月)に行われます。

▼オープン・キャンパスのご案内

10月21日(金)午後～22日(土)昼

体験授業は佐藤信行師、戸塚雅昭

師が担当。21日の体験授業はオン

ライン参加も可能。申込受付中。

▼後期の授業は10月25日(火)開始

消息報告



●杉本宣子先生(引退牧師)の新住所は次の通りです。

〒333-0824 埼玉県川口市赤芝

新田525-1 特別養護老人ホ

ーム川口キングス・ガーデン

教報PDFパスワード 8184

新生宣教団 定価 一部110円(税込)

郵便振替 001107133609

発行人 岩上祝仁 編集者 寺村秀嗣
発行所 東京都千代田区神田駿河台一

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇
〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部